

大潮



千葉県助産師会

第31号 令和2年3月

1. 会長あいさつ

(一社) 千葉県助産師会 会長 武田 智子 4地区 八千代マタニティーセンター武田助産院

すっかり春めいてまいりました

年度末に向けて、各委員会、部会とも活動のまとめの話し合いが活発におこなわれました。

子育て委員会は多岐にわたる相談に対応するためQ&A形式を取り入れた「電話相談対応マニュアル」を完成させました。また、生と性の健康教育特別委員会は講師の質を保つために「ニュースレター第3号」を発行いたしました。両委員会とも学びを深めながら編集に頑張っておりました。

昨年12月には母子保健法の一部改正により産後ケア事業が市町村の努力義務となりました。妊産婦のニーズに応じた産後ケアを展開することが求められており、今後助産師への依頼範囲が広がっていきます。県下のすべての妊産婦が同様のケアを受けられるように千葉県助産師会として要望及びお願いをしていきます。

昨年2月に千葉県医師会が主催する「千葉県医療推進協議会」が発足しました。千葉県助産師会も参加をし、他の医療職と連携することが容易になり、医師会、看護協会、栄養士会、理学・作業療法士会などの多職種連携が見えてきました。来年度もさらに飛躍する千葉県助産師会をめざし、ご協力をお願いいたします。



CONTENTS

1. 会長あいさつ	1
2. 菜の花会報告	2
3. 教育委員会 保険加入のお願い	3
4. 子育て委員会	4
5. 生と性の健康教育特別委員会	5
6. 国際助産師の日お知らせ	6
7. 令和2年度通常総会	7
8. お知らせ 編集後記	8

2. 菜の花会

千葉県助産師会副会長 佐藤美保子 3地区 佐藤助産院

今年度の菜の花会を2月2日(日)千葉中央駅近くの「川の音」にて開催いたしました。

19名の参加者が、お食事をしながら歓談のひとときを過ごしました。武田会長のご挨拶をいただいた後、中村監事の乾杯で宴席が始まりました。

参加者の近況報告では、齋藤葉子先生から、虐待が増えている社会の中で助産師が果たす役割についてお言葉を頂き、その責任に身の引き締まる思いとなりました。中村監事からは今年度で退任されることのご報告がありました。長年に亘り千葉県助産師会の活動にご助言を頂き有難うございました。その他にも参加者の皆さんからは日頃のお仕事や助産師会の活動の報告があり、2時間があっという間に過ぎていきました。

菜の花会は「先輩助産師の技や想いの伝承」と「会員同士の交流の場」として毎年開催されています。来年も多くの皆様の参加をお待ちしております。



良き学びの場です。
皆様のご参加お待ちしております



3. 教育委員会

母乳栄養支援セミナー「どうしてですか？母乳育児」延期

教育委員会委員長 東 亜紀 2地区 秀明大学看護学部

千葉県助産師会では、助産師の資質向上と助産師同士及び関係職種の方々との交流を目的に、1年に数回の研修会を計画しています。2020年2月23日(日)は、今年度最後の研修会『母乳栄養支援セミナー』を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、多数が集まる場所での感染防止を図るため、研修会は延期させて頂きました。楽しみにして下さっていた皆さまには、大変申し訳ありませんでした。

今、各地で繰り返している新型コロナウイルス感染症の感染経路は、主に接触感染の様式です。接触感染は、固定された「場所」で発生します。研修会の参加者は、講義で「場所」が固定され、実技で「道具を共有」することは避けられず、判断は妥当であったと考えております。

教育委員会では、吉岡由紀子先生(よしおか助産院)を改めてお招きし、同じセミナーの開催を調整中です。決定いたしましたら千葉県助産師会ホームページにてお知らせいたします。

引き続き、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

【研修会】母乳栄養支援セミナー「どうしてですか？母乳育児」リターン

10:00-12:00 講義：産褥早期から断乳までの対処法

(乳頭トラブル・吸吮困難・乳腺炎・体重増加不良・断乳・卒乳)

13:00-14:30 実技：基本的な飲ませ方・やさしい搾乳方法

【日 時】 未定

【会 場】 未定

【定 員】 未定

【参加費】 千葉県助産師会会員 3,000円(半日 2,000円)

日本助産師会会員 4,000円(半日 2,000円)

学生 500円

非会員 5,000円(半日 3,000円)

【申込】 千葉県助産師会ホームページ研修会申し込みフォーム準備中

【問い合わせ】 kosyuu@midwife-chiba.org (教育委員会)



保健指導部賠償保険加入のお願い

『保健指導員賠償責任保険制度』は助産師会会員のみが加入できる保険です。母子訪問指導・集団指導・健診活動・妊婦の健診指導等を行う中で生じた賠償責任について補償しており、万が一に備えて、加入を勧めています。保健指導部では、母子の安心・安全のために、仕事をしている全会員の加入を目指しています。未加入の方は早急に手続きをお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

<取扱代理店>

株式会社ウーベル保険事務所 電話：03-3553-8552 FAX：03-3553-8553

〒104-0041 東京都中央区新富2-4-5 ニュー新富ビル8F

4. 子育て委員会 子育て委員会の取り組み

子育て委員会委員長 末田 美鈴 2地区 すず助産院

子育て委員会では、11月23日（祝日）に第2回研修会と事例検討会を開催しました。

午前中は『児童虐待事例から学ぶ子育て支援』をテーマとした研修会で、児童虐待事例を数多く取材執筆されているルポライターの杉山春先生を講師にお招きし、虐待の裏に潜むDVや家庭と地域との繋がりの薄さ、専門機関の認識の食い違いや連携の不備などにより、幼い命とその家族を救えなかった悲しい現状をお話頂きました。そして、『虐待を防ぐためには、その家族の周りにいる人々が、それぞれの五感を働かせて、自分の意思を持ち行動を起こすこと』というメッセージを頂き、改めて私達ひとりひとりが自分事として考えなければならない問題と思いました。この研修会には、助産師会会員のみならず、児童相談所職員、保健師、児童養護施設職員、臨床心理士、地域で子育て支援に関わる方々など、70名を超える参加があり、今後他職種と助産師会の連携が更に高まることを願います。

午後の事例検討会は、『子どもを叩いてしまう母親からの相談』『保健センターへ繋いだケース』『繰り返しかけてくる父親からの相談』などを事例にあげ、会員間でのディスカッションを行いました。日々寄せられる相談には、思い通りにいかない子育ての辛さや、夫や家族に理解してもらえない孤独感など、簡単には解決できない心の問題が多くなっている印象です。電話相談のできる支援には限界もありますが、助産師の温かい声が相談者の心を癒し、社会的資源とつなぐ架け橋になることはできます。ネット社会の希薄な人間関係の中だからこそ、この電話相談の果たす大きな役割があるのだと思います。

また、今年度は『電話相談対応マニュアル制作』にも取り組みました。実際の相談をもとに、最新の情報を含めた実用的なQ&A形式のマニュアルとなっています。次年度電話協力員の方々には無料配布させていただきますので、ぜひご活用下さい。

1年間、ご協力どうもありがとうございました。



講師 杉山春先生



研修会の様子

マニュアル作成して下さった
委員の皆様



5. 生と性の健康教育特別委員会

～ニュースレター裏話～

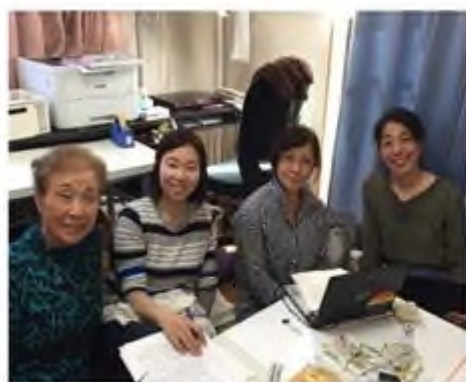
生と性の健康教育特別委員会委員長 小路 和子 1地区 和(なごみ)助産院

「健康教育は特定の誰かが学校などの決まった場所で行うものではなく、助産師のすべての活動に深く関わるもの、助産師としての活動の大きな柱の一つである」という考えのもと、共に学びを深めるために会員メールでニュースレターを発行しています。内容は準備、打ち合わせ、テーマの考え方、服装、見学者のマナーなど「基本的で大切なのに講師同士で語り合う場がなかった部分」「職能の品位を守る大切なこと」、そして「データとその読み取り方」です。

委員会では「個人の意見ではなく委員会としての発信」であることを重視しているため、まずはテーマごとに担当の委員が書いた原稿をたたき台として、委員会で話し合い、またメール交換で検討を重ねます。何度も推敲を重ねてニュースレターとなります。この過程が刺激的で、学び多く、苦しくて、楽しい!

私は第2号で「テーマを考える」を担当しましたが、自分の経験だけでは足りなくて、多くの方にインタビューし、本を読み、研修に行き、のたうち回りました(笑)。普段何気なくやっていること、漠然と考えていることを文章化することで自分自身の振り返りにもなりました。

委員みんなの経験や考えを聞いて気持ちを共有し、自分と違う視点や視野に驚き、それぞれの実践の豊かさ、濃やかさに感激し、学んでいます。本当はこの過程そのものをみなさんにお伝えしたいくらいのお得感いっぱい委員会です。ニュースレター第3号も是非ご覧ください。



苦しくても楽しい!
食欲に学び続けることが
大切ですね

東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

Sleeping seminar

◆こんなお悩みはありませんか?

- ・夜勤明け、体は疲れているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

研究会や勉強会、学会でのコーヒーマスターもご提供しています。



東洋羽毛北関東販売(株)千葉営業所
〒285-0815 千葉県泉佐倉市城354-8

～お気軽にお問い合わせください～

0120-006745



6. 国際助産師の日 ～お知らせ～

第18回「国際助産師の日」 実行委員長 清水 清美 6地区 城西国際大学看護学部

2020年 第18回「国際助産師の日」は香取・海匝・山武・夷隅・長生地区が担当させていただきます。
テーマは「地域で支えよう 愛を伝える子育て」です。

香取・海匝・山武・夷隅・長生地区は範囲が広く、超高齢化が進んでいる医療偏在地域です。助産師会に所属するメンバーも少ないのですが、その分、子どもに関わる地域の医療・福祉従事者、大学教員、学生の協力を得て、プレコンセプション世代、妊娠中、子育て中の方が集える場となるよう準備しております。

メインテーマである講演会は今村理恵子先生(森田助産院 副院長・国際ボンディング協会)をお迎えして、どの世代においても必要不可欠な「ボンディングから広がる関係性」についてお話いただきます。また、城西国際大学福祉総合学部の協力も得て、クジラキッズ(子育て支援ルーム)を公開する予定です。

交通の便はあまり良いとは言えませんが、車での来場は可能です。どうぞお誘いあわせの上、ご参加ください。また、各地区の皆様には当日のブース開設のご協力もよろしくお願いいたします。



子育て支援ルーム(城西国際大学)
沢山のおもちゃがあるよ!!

CAC*Happy*Maternity



赤ちゃんを迎える前の
しあわせな時間をご一緒にしましょう

出産に向けてのココロとカラダのケアを
専門のスタッフと助産師が全面サポート
ママとベビーのプログラムも
充実しているので出産後も安心!
CACはハッピーなマタニティライフを応援します



※マタニティコンディショニングプログラム
Wed:10:00~11:30
(全席)

※アロマピフス
Fri:12:00~13:30



CACスポーツクラブ 047(476)2711

※助産師*水・金曜日のみ

7. 千葉県助産師会 通常総会のご案内

令和2年度一般社団法人千葉県助産師会 通常総会

日程：令和2年4月26日(日) 10:00～16:00

会場：千葉市文化センター セミナー室

次第

- 9:30 受付
- 9:55 オリエンテーション
- 10:00 開会宣言
会長挨拶
来賓挨拶
表彰
永年活動 感謝状
- 10:40 地区報告会
5地区、6地区、7地区、9地区より報告
- 11:45 役員改選選挙
- 12:10 昼休憩
- 12:55 総会開会
議長団選出
審議事項
- 第1号議案 令和元年度 活動報告
- 1) 運営会議・理事会報告および事業報告
 - 2) 地区部会 活動報告
 - 3) 専門部会 活動報告
 - 4) 委員会 活動報告
 - 5) 行政および関連団体等への参加状況報告
- 第2号議案 令和元年度 収支決算報告および監査報告
- 第3号議案 令和2年度事業計画(案)
- 1) 事業計画骨子(案)
 - 2) 地区部会 活動計画(案)
 - 3) 専門部会 活動計画(案)
 - 4) 委員会 活動計画(案)
- 第4号議案 令和2年度 収支予算(案)
- 第5号議案 定款について
- 第6号議案 その他
選挙結果の報告
- 15:00 総会閉会
- 15:10 専門部会集会
- 16:10 令和2年度 第2回理事会



お知らせ



1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ（<http://www.midwife-chiba.org>）にてご確認ください。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
6月14日（日）	未定	研修・交流会	千葉市民会館	生と性の健康教育委員会

2. 理事会の日程 4月～9月

第1回	4月12日（日）	9:30～12:30	千葉市民会館	
第2回	4月26日（日）	16:10～17:00	千葉市文化センター	
第3回	6月7日（日）	9:30～12:30	千葉市民会館	

3. INFORMATION

・会計より…転居などで千葉県助産師会を途中退会する際には会費の返金はありません。ご了承ください。

4. メーリングリストについて

- ・氏名や住所の変更があった場合は速やかに変更手続きをお願いいたします。
- ・メーリングリストに登録すると助産師会と関連のある団体の研修会の案内等も届きます。

8. 編集後記

令和元年の出生数は、86万4千人と過去最少を更新しました。

子どもを持つか持たないかは個人の選択ですが、否定的な出産体験や子育てに伴う負担が女性の子どもを産む選択肢を狭めているのであればとても悲しいことです。助産師は、女性に最も身近な存在として寄り添いながら、身体的・精神的な健康を守り、母親になる過程に伴う女性たちのストレスを緩和します。そのような安心できる助産師の存在は、女性が「もう一人産みたい」という意思決定につながっていると実感しています。

大潮は、女性に寄り添う助産師の具体的な活動を掲載することを通して、助産師の必要性和と脈々と受け継がれる助産師としての技の重要性について、広く意識を高めることに貢献していると考えます。

今後とも皆様方のご協力を頂きながら取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員：鈴木香里・佐藤静子・美濃口真由美・山本裕子



【お詫びと訂正のお知らせ】

令和元年12月発行の大潮30号(P6)において、講師登壇の写真下の氏名が下記のように誤った表記がございました。講師の先生はじめ、関係各位の方々や会員皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

訂正させていただくとともに深くお詫び申し上げます。

誤) 右側→岸本優子氏 左側→御手洗幸子氏

正) 右側→御手洗幸子氏 左側→岸本優子氏

広報委員会